

マルチデバイス対応のセキュア・ドキュメント共有システムサービス

SkyPAS® AT Plus

監査証跡の確保

法令遵守

業務効率化

生産性向上

環境負荷軽減

働き方改革



監査証跡を確保しながら、帳票へのデータ入力・取り込み・出力と記録データの活用を実現

『SkyPAS AT』の監査証跡機能を継承しながら、帳票への「データ入力・取り込み・出力」を可能にし、記録データの後続業務での活用を支援する新ラインアップです。

帳票に記録されたデータを他の帳票やシステムで活用できるほか、外部ファイルのデータを帳票へ取り込めるため、転記や再入力削減につながり、その後の集計・分析・システム連携などの業務も効率化できます。

SkyPAS ATの特長 PDFの高い安全性と豊富な機能を活用して、短期間かつ最小限の手間で業務のペーパーレス化を実現します。

1 高い安全性

- 未来永劫に表示・印刷可能なファイルフォーマットで、長期保存が可能なPDFファイル（ISO準拠）で運用
- 「誰が」「いつ」「何を」書いたのか、行ったのか、監査証跡を自動的に記録・保存
- 操作権限を詳細に割り振り、安全な運用をサポート
- 帳票に記載した記録の削除や帳票自体の削除・改ざんを防止
- 文書の移動に伴う紛失・毀損リスクを解消

2 優れた使い勝手

- マルチデバイスに対応し、さまざまな環境で利用可能
- 紙とボールペンに代わり電子ペンとタブレット端末を使って、紙と同等の操作性での記録が可能
- 検索機能により、必要なファイルを迅速に表示
- 紙文書の電子化により、物理的な保管スペースを大幅に削減できるとともに、経年劣化や破損・汚損のリスクを低減

3 スムーズな導入

- WordやExcelなど既存帳票の元データを使用して、短期間で大量の帳票を電子化
- 紙を操作するイメージのため、教育がほぼ不要
- クラウド利用の場合は、ライセンス契約だけでなくすぐに利用可能※
- ドキュメント類の作成に際しては、ご相談や資料提供等のサポートを実施

※スモールスタートで運用開始し、契約途中でライセンスを追加することもできます



「誰が」「いつ」「何を」書いたのか、行ったのかを自動的にデータとして記録・保存し、**監査証跡**として記録された情報を閲覧できます。



SkyPAS AT Plusとは

『SkyPAS AT Plus』は、従来の紙帳票と同じ見た目のPDF帳票に、文字や数値の入力欄、項目を選ぶための選択欄などを設定したフォーム付きPDF帳票※を使用します。

帳票の各項目には、キーボードで文字や数値を入力できるほか、使用する端末のOSが備える手書き文字認識機能を利用して、手書きした文字や数値をテキストデータに変換して入力できます。また、選択欄から項目を選択できます。

帳票に入力・選択されたデータは、CSVまたはJSON形式のファイルとして出力でき、他の帳票やシステムで活用できます。同形式のファイルからデータを取り込み、帳票の各項目へ反映することも可能です。

これにより、紙帳票に近い感覚で記録しながら、監査証跡による電子記録の信頼性確保と、記録データの後続業務での活用を両立します。



※フォーム付きPDFとは

文字や数値の入力欄、項目を選ぶための選択欄などを備えたPDFです。

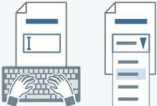
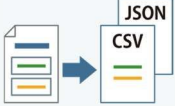
テキストボックス（文字や数値を入力する欄）、チェックボックス（複数の項目から該当するものを選ぶ欄）、ラジオボタン（複数の選択肢から1つだけ選ぶ欄）、リストボックス・コンボボックス（一覧から項目を選ぶ欄）などに対応しています。

スカイコムが提供する『SkyPDF Professional 8』または『SkyPDF SmartWorker 8』を使用することで、専門的な知識がなくてもフォーム付きPDFを直感的に作成できます。

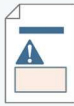
主な機能

『SkyPAS AT Plus』は、フォーム付きPDF帳票へのデータ入力、CSVまたはJSON形式のファイルを用いたデータの取り込み・出力、入力ミスの防止を支援する機能、入力・変更履歴を確認できる証跡管理機能を備えています。これらの機能により、帳票への入力から記録データの活用、証跡管理までを支援します。

<データ入力・取り込み・出力>

データ入力	データ取り込み	データ出力
フォーム付きPDF帳票の各項目に、キーボードまたは手書きで文字や数値を入力、選択欄から項目を選択できます。 	CSVまたはJSON形式のファイルからデータを取り込み、フォーム付きPDF帳票の各項目へ反映できます。 	フォーム付きPDF帳票に入力・選択されたデータを、CSVまたはJSON形式のファイルとして出力できます。 

<入力支援>

データ形式チェック	閾値チェック	未入力チェック	テキスト変換
入力欄ごとに、文字列（数字のみ、英字のみ、英数字、ひらがな、カタカナ）、数値（整数、小数）、日付などのデータ形式を設定できます。設定した形式に合わないデータが入力された場合、アラートで通知します。 	あらかじめ設定した範囲（閾値）を外れる値が入力された場合、対象の入力欄を色付きで表示し、帳票を閉じる際にアラートで通知します。 	必須項目が未入力のまま帳票を閉じようとした場合、アラートで通知します。未入力の項目を色付きで表示することもできます。 	使用する端末のOSが備える手書き文字認識機能を利用し、手書きで入力した文字や数値をテキストデータへ変換できます。 

<証跡管理>

証 跡
各項目について、「誰が」「いつ」「何を」入力・変更したのかを自動的に記録し、後から確認できます。初回の入力だけでなく、その後に行われた変更もすべて記録されます。 

管理者機能

- ユーザー管理 ● 部署管理 ● グループフォルダー管理
- 権限設定管理 ● お知らせ管理 ● 登録部署管理
- 全登録済利用者リスト出力（ファイルダウンロード）
- 操作履歴出力（ファイルダウンロード） ● 2要素認証
- システムログ閲覧（ファイルダウンロード）
- SSO（SAML認証） ● ログインエラー回数設定
- ユーザーログ閲覧（ファイルダウンロード）
- ダウンロードファイルへのID埋め込み（位置指定可能）

ユーザー機能

- ファイルアップロード／ダウンロード ● ファイル・サブフォルダー削除
- グループフォルダープロパティ設定 ● 新規フォルダー作成 ● ファイルコピー／結合
- ファイル移動 ● ファイル閲覧者一覧 ● 版管理 ● 署名
- ファイルダウンロード者一覧 ● ファイル一覧表示 ● アクセス権限設定
- 新着リストフォルダー ● ファイル検索（全文検索／ファイル・フォルダー名検索 など）
- お気に入りへ登録 ● ファイルの未読・既読 ● 監査履歴表示 ● ロック／ロック解除
- 英語表示 ● 読取／編集切替 ● ログインユーザー・ID表示 ● 白紙ページ追加
- 写真・画像取り込み ● 書誌情報登録 ● タグ ● フォルダ並べ替え
- ファイルバージョンチェック ● 同時編集 ● 閲覧 ● 分割Viewer表示 ● スタンプ

システム要件

サーバー（オンプレミスの場合に本製品をインストールするWindows Server 環境）					
CPU	Intel Xeon プロセッサー E3-1225 v6（4コア4スレッド,3.30GHz）相当 ※ 利用ボリュームに応じてスケーリング		Webサーバー	IIS 10以上	
			.NET	10と互換性のあるバージョン	
メモリ	32GB 以上 ※ 利用ボリュームに応じてスケーリング		ディスク空き容量	100GB 以上 ※ データ保存用ドライブの割り当ては任意に変更可	
OS	<SkyPAS サーバー、DB サーバー> Microsoft Windows Server 2022 Microsoft Windows Server 2025 ※ いずれもGUI使用サーバーに限る ※ 言語は日本語または英語のみ。英語OS の場合、日本語言語パックのインストールが必要 <Redis サーバー> Ubuntu Server 22.04 LTS		DB	<データ保存用> Microsoft SQL Server 2022 ※ Expressの場合は、Express with Advanced Services パッケージが必要 ※ 自動バックアップ / 負荷分散を設定する場合や、データ量 / ファイル数が多い場合は、Standard 以上が必要 <編集用> Redis 7.2 / 7.4	
クライアント（クラウド／オンプレミス共通 本製品の機能をWeb ブラウザーから利用する環境）					
Windows OS	Microsoft Edge Google Chrome	iPad OS	Safari Google Chrome ※iPad OSは、ユーザー 画面のみ対応	Android OS	Google Chrome

- ・ Microsoft、Windows、Office は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ Google Chrome は、Google LLC の商標または登録商標です。
- ・ その他本カタログに記載されている会社名、ブランド名および商品名は、すべて各所有者の商標または登録商標です。

本カタログの記載内容は、製品の改良等のために予告なく変更する場合がございます。

開発 株式会社 スカイコム www.skycom.jp

製品情報はこちら



販売

【本 社】〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19 秋葉原ビルディング10F TEL. 03-5289-0788
【R&Dセンター宮崎】〒880-0801 宮崎県宮崎市老松2-2-22 JR宮交ツインビルオフィス901